



団体戦本戦 総合6位 @小戸

平素より大変お世話になっております。この度京都大学体育会ヨット部第89代主将に就任しました峰野晴と申します。先日、福岡県で開催されました第88回全日本学生ヨット選手権大会をもちまして第88代は引退し、私たち89代が部を運営していくことになりました。先の大会では470級5位、スナイプ級10位、総合6位という結果になりました。88代が目標としていた総合3位は惜しくも達成できませんでしたが、3年連続の総合入賞を成し遂げ、京大ヨット部の強さが偶然のものではないことを全国に認めさせる結果になったものと感じております。今年の目標も「全日本インカレ総合3位」です。

目標達成の為には、京大ヨット部の強みである「総合力」と「蓄積」を活かすことが不可欠であると考えています。このチームの総合力とは、レースメンバー、沖と陸のサポートメンバーが一丸となって戦うことであり、そして蓄積とは、過去89年の歴史の中で継承されてきた知識や技術、文化のことです。89代は、歴史を背負い、部員全員で戦い、そして新たな歴史を継承することを目指していきます。

最後になりましたが、スポンサー契約をしていただいております株式会社リブレ様、株式会社フラットエージェンシー様、レバレジーズ株式会社様、また、部員の保護者の皆様、OBOGの皆様、京都大学体育会関係者の皆様、その他京都大学体育会ヨット部に関わる全ての皆様には、日頃より多大なるご支援ご声援を賜りまして誠にありがとうございます。私たちの活動は皆様のご支援なしでは続けることができません。感謝の気持ちを忘れずに今後も取り組んで参ります。引き続きご支援、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

インカレ本戦陸サポート

お世話になっております。新3回生470スキッパーの溝脇大智です。陸サポートには、得点計算やTracTrac分析、装備交換や乗員交代の申請、審問準備、SNS広報などたくさんの仕事があります。1回生も9月末のインカレ予選で陸サポートの重要性を認識し、万全の状態をサポートに臨めたと思います。しかし、大会期間中を通して風が安定せず、APが掲揚されたり、スタートしても途中で中止になったりすることが多く、陸サポートがチームの成績にどれだけ貢献しているのか実感しにくい、もどかしいレガッタとなりました。それでもレースが始まると、皆がTracTracやYouTube配信に見入り、大きな歓声を上げて応援していました。



近畿北陸学生ヨット秋季大会

新2回生スナイプクルーの明見春彦です。今回は11月25、26日にかけて行われましたプレプレについて報告させていただきます。1日目は南から西、北と徐々に回りながら、オーバーの風が吹いており、海面選択が非常に重要になったレースでした。2日目も南風のオーバーでしたが、比較的安定して入り、風が少し落ちる場面もありました。私は新3回生の鈴木亮太郎さんと乗らせていただき、大きな風の見方やシンプルなコース引きの大切さなどがわかり、今までより俯瞰的にレース全体を見られるようになりました。この経験をオフ期間でも忘れないようにして、来年の飛躍に繋げていきたいです。



交代式

新4回生470スキッパーの飯田碧です。11月18日、88代から89代への交代式が艇庫にて開かれ、現役、OBOG、監督・コーチら約80名が参加しました。引退した88代の方々からの引退挨拶、89代の決意表明、監督・コーチからのお話などがあり、式を通じて、改めて88代の方々から引退したんだという実感や寂しさが込み上げてきました。しかし、もう既に峰野主将率いる新体制での活動が始まっています。88代まで築かれてきた京大ヨット部という「巨人」の肩の上に立ち、目標とする「インカレ総合3位」を達成できるよう全力で邁進していきたいと思っております。今後ともご支援、ご声援のほど宜しくお願い致します。



スナイプミックス@小戸

お世話になっております。新2回スナイプクルーの原田智です。11/11～11/12に行われたスナイプミックスについて報告させていただきます。

今大会は新2回生にとっては初めての海でのレースとなりました。今まで経験したことの無い大きな波の中での帆走は大変難しかったです。また強風の上にレグが1マイルと長く、体力もほぼ限界でした。社会人の方々の帆走力の高さも実感できました。先輩スキッパーに多くのことを教えていただけて学ぶことばかりであったという間の二日間でした。琵琶湖での練習とは全然違う環境でレースができ貴重な経験となり、さらにヨットの練習へのモチベーションにつながりました。

部員リレーインタビュー member relay interview

日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。今回はもうすぐ先輩になる新2回生クルーのお二人です。神谷康成(新2)・大土呂碧(新2)



470クルー

神谷康成

愛知県刈谷高校バスケット部出身。経済学部。圧倒的な親しみやすさで、七大戦が行われた神奈川県までヒッチハイクで向かうなど、破天荒な逸話も残している。同期の470クルーに負けじと、熱い心で日々練習に取り組んでいる。

Q.これまでの部活を振り返って

A.新歓期間の終わりとともにすぐに下級生教育が始まり、ホッパーでの練習が始まりました。船を扱う感覚は確かに新鮮で気持ちのいいものですが、あまりにも多い変数のために心の底からヨットを楽しめていなかったようにも思われます。そして470クルーというポジションに出会いました。自分にとって大きな転換点だったと思います。膨大な変数に頭を悩ませていることに変わりはありませんが、ヨットに熱中していると、また、ヨットは非常に楽しいものだと今なら言えます。

Q.思い出に残るレース

A.8月19,20日に行われた新人戦の第三レース、きっしーさんと乗ったレースはすごく思い出に残っています。一上までのレグを高い順位で走ったのにも関わらず、回航後スピンをあげたらスピスがツイストしていました。そのツイストを直すことができないままズルズルと順位は落ちていき、結果的にスナイプのドベを走るにまで落ちてしまいました。スピンをきれいにしまうことであったり、シートの整理をすることであったりこれまで“たかが”として捉えてきたことが“されど”と改めて認識させられるレースでありましたし、もっと上手になりたいと思わせてくれるレースでした。

Q.尊敬する先輩

A.尊敬する先輩はたくさんいますがその中でも前主将の石橋和樹先輩、バシさんを挙げたいと思います。新歓期に私をご飯に連れて行ってくれた彼は、自分のご飯を食べることなくヨット部の魅力を語り続け、私にご飯を食べ終わって初めてバシさんは食事を口にしました。バシさんのヨットへの情熱、人としての魅力を強く感じ、ヨット部への入部をこの瞬間に決めました。

Q.これからの目標

A.目標は二つ、ひとつは成長に必要なものを貪欲に求め続けること、もうひとつはヨットを楽しみ続けることです。いつか、インカレでトップを走ることのできるクルーであると同時に、チーム全体を俯瞰できる一員になるために日々色々なことを吸収していきたいです。そしてただ勝利にこだわるだけではなく、ヨットを純粋に楽しむことも忘れずにいきたいです。



スナイプクルー

大土呂碧

福井県藤島高校英語ディベート部出身。工学部工業化学科。誰と話すときも常に笑顔絶やさず、部活も授業もバイトもそつなくこなす彼女は、部内で高嶺の花として崇められている。夏には英語力を生かし、トルコへの留学も経験した。

Q.これまでの部活を振り返って

A.この間入部したばかりなのに、もう新2回生と呼ばれることに驚きを隠せません。最近の自主練で浜出艇をせざるを得なかった時に、ホッパー期を思い出してしみじみしました。夏合宿期間に休部させてもらったこともあり、ヨットに関して未だ本当に未熟なのですが、同期にも先輩にもOBさんにも沢山頼りながらヨットを楽しんでいます。どの時期を振り返っても、周りに支えられてばかりだという印象です。

Q.平日何してる？

A.早朝バイトして、授業出て、早く寝てます。料理は全くしませんが、最近新しく始めたバイト先の賄いのお惣菜のおかげでQOL爆上がりしてます。空き時間があれば、女子アイドルを鑑賞してます。同世代の同性が自分の実力でのし上がっていくのがかっこよくて、また徹底した自己管理や努力量を、自制心が皆無の自分と比較して尊敬しています。他には小説を読むことが多いです。19年生きてきて、今のところ特にお気に入りなのは'The Queen's Gambit'と「凍りのくじら」と「モモ」です。

Q.自分の強み

A.マイペースで自分に甘いところです。ヨットにもっと楽しく乗れるようになりたいから練習する、食べることが好きだからいっぱい食べる、疲れたら休む、と自分の感情に正直に行動するので、過度に無理せずストレスを溜めずに活動を続けられると考えています。完全にわがままですが、自分がしんどくなりたくない分、周りで悩みを抱える人がいる状況があれば手を貸すことで、この甘さを強みとして活かせると思います。

Q.今後の目標

A.楽しんでヨットに乗り続けることです。楽しむと一口にいても、具体的には色々な条件が揃う必要があると思います。まず基本的な技術が身につかないと、レースでヨットを走らせられないので、理論も動作も帆走ももっと学びます。また身体面では、怪我をすると気持ちに関わらず満足に乗れなくなるので、できる対策を意識的にします。同期との関係も、今の居心地のいい状態を保てたら楽しさ増し増しなので、ちゃんとコミュニケーションを取ります。

11月ポイントレース

新2回生470クルーの樋尻太貴です。11月のポイントレースは朝から三井寺から爆吹いており、あの上中惇郎さんでさえ出艇してすぐにハーバーバックしてしまうほどの風でした。1レース目、2レース目は風が強すぎて僕たち一回生は出場できませんでした。僕は3レース目に抜井さんと一緒にレースに出させていただきます。インカレの個人戦に出たりインカレ団体戦でも安定して上位を取る世界のLisa Nukui とのはじめてレースで緊張したのですが、艀装品クルーとして動作だけでも頑張ろうと思い挑みました。レースの感想としては、動作のクオリティに差があるなど思ったのとランニングのスピントリムにまだまだ改善の余地があるなど思いました。しかし、レースで前を走る経験をさせてもらい次は同回のスキッパーと乗った時に同じ景色を見せてあげたいと感じより一層練習に勤しみたいと思います。



オフの過ごし方



お世話になっております。91期スナイプクルーの野口陽矢です。今回のオフはヨット1色で過ごそうと考えています。時間があればバーチャルレガッタ(ヨットのゲーム)でコースの勉強をしたり、先輩方の動画を研究したり、ネット上のヨットに関するあらゆる情報を仕入れたりと、次のレースで成長を感じられるよう、日々努力しようと思っています。

新3回生スナイプスキッパーの桂田泰誠です。京大ヨット部は冬の間約2ヶ月間オフ期間がありますが、部員のオフの過ごし方は様々です。どこかに遊びに行く人やバイトをしまくってお金を貯める人、勉強に集中して何かの資格取得を目指す人もいます。そんな中僕はヨットのためにバイトする日々が続きます。オフ期間は一度ヨットから離れるものなのかもしれませんが、今年はずっとヨットのことを考えて生活すると思います。



レスキュー便り

情熱あふれるマネージャーたちの活動や思いについて紹介します。

平素よりお世話になっております。新3回生マネージャーの下村優芽です。88代が引退して早1ヶ月が経とうとし新チームの体制が徐々に出来つつあり、私達マネージャーは先輩方がいない中での練習に不安もありますが、9人で切磋琢磨しながら日々練習に勤しんでいます。最近私が個人的に充実していると感じるのがマネージャーミーティングです。分からない事をお互いに教え合ったり、考えたり、みんなヨットに直向きに向き合う姿が凄く良いなとミーティングしながら感じています。是非プレイヤーもマネミに耳を傾けてみて下さい♪



新3回生マネージャー
下村優芽

京都大学体育会ヨット部
滋賀県大津市鏡が浜番外地
京大ヨット部艇庫

[tel] 077-525-0312
[hp] <https://www.kuyc-home.com/>
[mail] kuyc.2013@gmail.com

<https://twitter.com/kuyc>

<https://www.facebook.com/kyuysailing/?fref=ts>

https://www.instagram.com/kuc_food/?hl=ja